

SEOS便り

責任者 勝敏彦
 責任者 彰彦
 編集員 2名
 発行 石川 横堀
 編集 他



創業四十九周年記念式典

令和2年8月3日、(株)ジーエムシーと(株)全日本ガードシステムは創業四十九年の記念式典を執り行いました。例年ですと、各永年勤続者、特別表彰者、標語コンクール受賞者をお呼びして式典にて表彰を行っておりましたが、本年は新型コロナウイルスの感染防止を鑑みて、ジーエムシーから沼倉さん・佐藤さん、全日本ガードシステムから白旗さん・金田さんの4名に代表して出席していただき、受賞者・列席者ともに座席間の間隔をあけて表彰式を行いました。受賞者の方々には、表彰状と記念品が授与されました。受賞された皆様おめでとうございます。

永年勤続二十年

- ・ 沼倉 一博 (設備管理部)
- ・ 竹下 祥子 (横浜支社)
- ・ 武井 紀子 (埼玉支社)
- 全日本ガードシステム
- ・ 若林 敏生 (常駐保安部)
- ・ 平井 英次 (常駐保安部)
- ・ 三上 芳夫 (常駐保安部)
- ・ 白旗 英樹 (機械輸送部)
- ・ 小林 宏 (横浜支社)
- ・ 石井 健二 (千葉営業所)

永年勤続十年

- ・ 重田 高志 (設備管理部)
- ・ 佐藤 隆徳 (業務管理部)
- ・ 橘 久夫 (業務管理部)
- ・ 東 光明 (業務管理部)
- ・ 柏原 賢 (業務管理部)
- ・ 関根 のぶ子 (業務管理部)
- ・ 渡辺 晃世 (業務管理部)
- ・ 梶山 良光 (業務管理部)
- ・ 齋藤 美代子 (横浜支社)
- 全日本ガードシステム
- ・ 金田 真澄 (管理部)
- ・ 金井 明 (常駐保安部)
- ・ 小林 豪 (常駐保安部)
- ・ 田中 政志 (常駐保安部)
- ・ 林 信明 (常駐保安部)
- ・ 金子 昇 (常駐保安部)
- ・ 小林 葉 (常駐保安部)
- ・ 緑川 祐基 (常駐保安部)
- ・ 徳野 直己 (常駐保安部)
- ・ 雨宮 美佐子 (常駐保安部)
- ・ 安田 陽一 (機械輸送部)
- ・ 横濱 洋志 (機械輸送部)
- ・ 三縄 敏郎 (横浜支社)

特別表彰

- ・ グランドヒル市ヶ谷(業務管理部)
- ・ 城西病院(業務管理部)

令和2年度 標語募集結果 テーマ「感染症対策」

応募総数489作品の内、厳正なる審査の結果、以下の方々の作品が入選され、記念品が授与されました。受賞された皆様おめでとうございます。またご参加いただいた皆様ありがとうございました。依然として新型コロナウイルスはワクチン等の決定的な対策方法が見えない状況ですので、気を緩めることなく予防対策を行っていきましょう。

★金賞

設備管理部 沼倉 一博

『負けるなコロナに!!守るはマナー。大切なのは一人一人の心掛け。』

☆銀賞

GMC横浜支社 細川 友子

『毎日の新しい習慣身につけよう マスク・手洗い・命を守るワンプッシュ』

☆銀賞

常駐保安部 柏崎 正己

『コロナから職場を守る防波堤 手洗い・うがいに、マスク着用』

◎銅賞

GMC管理部 杉本 由実

『密から学んだエチケット。ウイルスに感染しない、させない 強い意志』

◎銅賞

業務管理部 柳川 裕

『マスク・消毒・社会距離 みんなで守る公衆衛生 一つ一つを再チェック』

◎銅賞

常駐保安部 蛇沼 達彦

『密を避け 手洗い・うがい確実に 続けていこうコロナ予防』

◎佳作

常駐保安部 緒方 博

『人との会話は手短かに 細めに手洗い習慣化 一つ一つを確実に!』

◎佳作

常駐保安部 前川 修

『ほらそこに 見えぬウイルス こまめに消毒』

◎佳作

AGS横浜支社 伴野 勝

『身についた、検温 手洗い マスクの着用 手指の消毒 感染予防』

◎佳作

AGS横浜支社 石川 寿夫

『ウイルスはあなたの油断をそっと待つ。手洗い、マスク、3密回避の実行』

◎佳作

AGS埼玉支社 大隈 英夫

『換気よし! 熱中症にも、コロナにも。』

令和2年 秋の交通安全運動

今月は秋の交通安全運動が行われます。依然として交通事故死傷者のなかで歩行者の割合が高く占め、子供や高齢者の被害が目立つだけでなく、自転車の事故も多発しています。運動の重点項目には「子供を始めとする歩行者の安全と自転車の安全利用の確保」などがあげられています。通勤時のマイカー・自転車、自社の営業車両が不用意に生活道路を走行したり、歩行者・自転車の多い場所で無理な運転をしないように指導しましょう。

◆運動の全国重点

1. 子供を始めとする歩行者の安全と自転車の安全利用の確保
2. 高齢医運転者等の安全運転の励行
3. 夕暮れ時と夜間の交通事故防止と飲酒運転等の危険運転の防止

◆運動の実施期間

令和2年9月21日(月)～30日(水)

◆交通事故死ゼロを目指す日

令和2年9月30日(水)

